

# 戦後の日本社会における 「満州移民」の歴史的記憶の形成過程



報告者： 趙彦民

山東大学歴史文化学院 副教授、  
愛知大学国際問題研究所客員研究員

司会： 周星

愛知大学 ICCS 運営委員、国際コミュニケーション学部教授

戦時中、約 27 万人の農業移民が日本から満洲へ送り出された。満洲移民の記憶は戦後の日本社会では、長らく忘却に追いやられてしまっていた。しかしながら、60、70 年代以降、満洲移民の体験者は、自らの間で満洲開拓の記憶を語り始め、継承しようとする動きを見せ始めた。そこで、本報告では、満洲開拓の記憶が戦後の日本社会でどのように語られ提示されているのか、どのように継承しようとしているのかを明らかにする。

開催日時： 2012 年 11 月 15 日（木）

16：40～18：10

愛知大学名古屋校舎厚生棟 3 階 W32 会議室

一般公開 参加無料 申込不要



【問い合わせ先】愛知大学国際中国学研究センター（ICCS）事務室  
〒453-8777 愛知県名古屋市中村区平池町4 丁目60 番6  
TEL：052-564-6120 FAX：052-564-6220  
URL：<http://iccs.aichi-u.ac.jp/>  
E-MAIL：[coe-iccs@moon.aichi-u.ac.jp](mailto:coe-iccs@moon.aichi-u.ac.jp)